

漁海況情報

第522号(平成27年12月7日発行)

発行: 山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

・庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、11月30日に沿岸(酒田定線)の水温観測を実施しました。その結果、100m層は「やや高い」、表層、50m層、150m層と300m層は「平年並み」、200m層は「やや低い」でした。

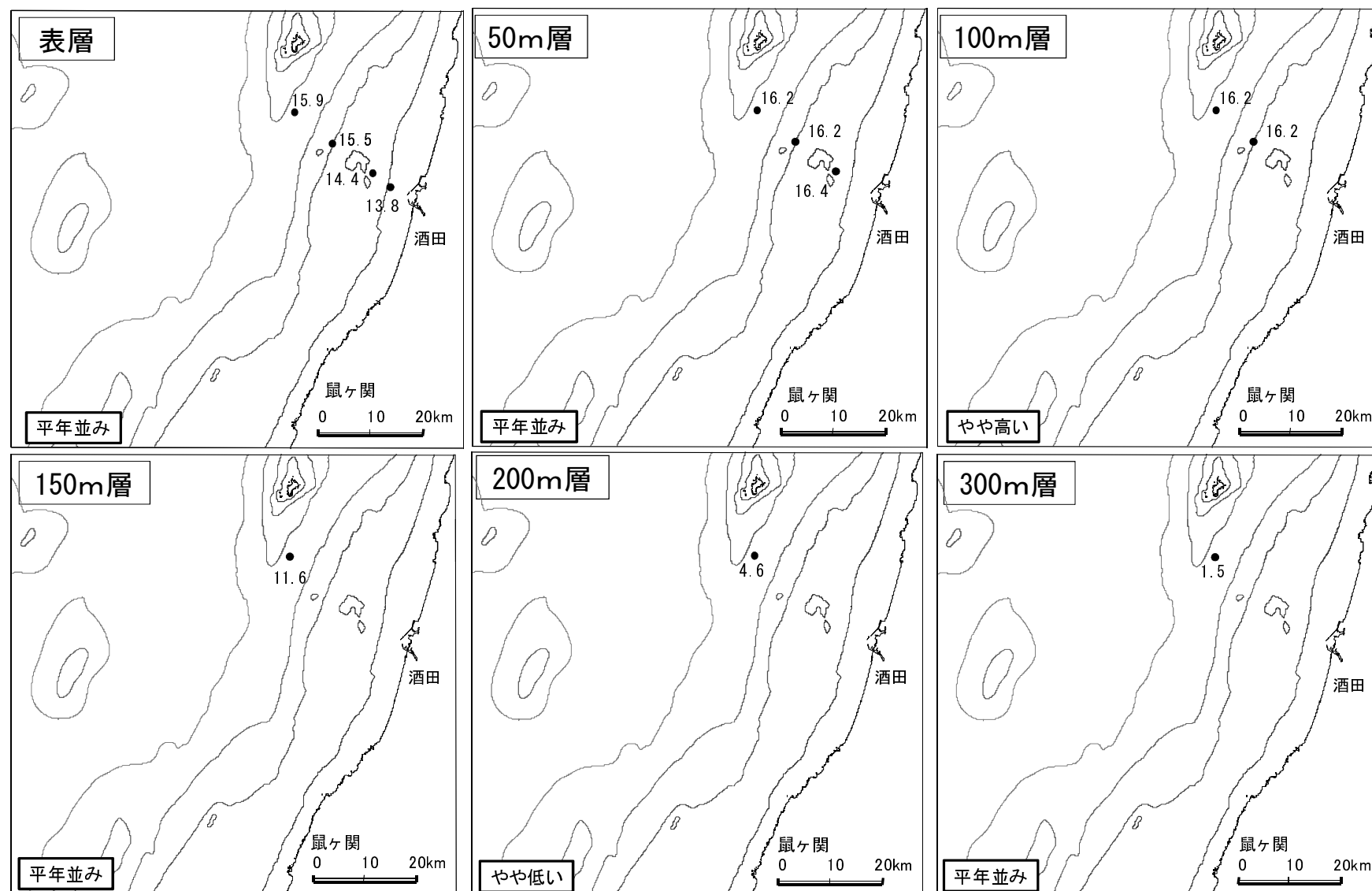
・11月の地先水温は鶴岡市加茂(水産試験場)は「やや高い」、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)は「平年並み」でした。

各層別の平均水温(12月上旬観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	14.9	16.2	16.2	11.6	4.6	1.5
前年差	-0.4	+1.4	+4.2	+2.1	-0.4	-0.1
平年差	-0.1	+0.4	+1.0	+0.1	-1.2	+0.1
評価	平年並み	平年並み	やや高い	平年並み	やや低い	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(やや低い)	(やや低い)	(平年並み)

評価の表現: “平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



サルパが大量に出現しています。御注意ください

1. サルパの繁殖水温(時期)
 日本海区水産研究所のサルパ関係担当職員によると、
 ・冬場も調査では採集されるが、大量に入るのは春期。
 ・一般に、東シナ海を発生地として、対馬暖流によって日本海に入る。春の雪溶け水で栄養が増えてプランクトンが発生する春にサルパも増える。
 ・平成16年4月の日本海における調査では、水温7~12℃(水深20m)で採集された。
2. 県外の情報
 青森~鳥取までの日本海の広範囲で、底びき網や定置網に入網しているようです。
3. 今後も情報を収集し、提供します。
 なお、水産試験場で、サルパの分解時間について試験中です(室内と湾内)。

地先平均水温(11月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	16.7	+1.0	+1.0	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	17.9	+0.3	+0.4	平年並み

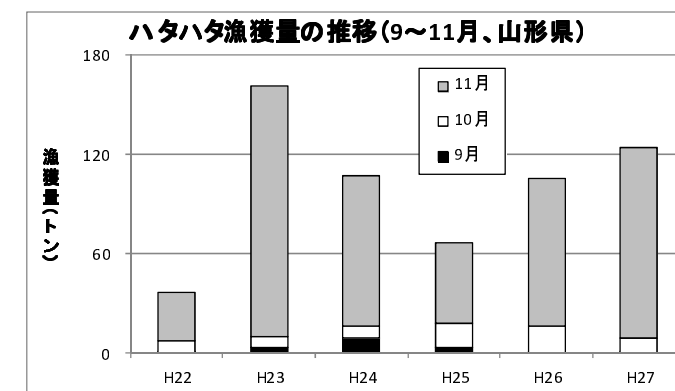
大型クラゲ情報



出現は引き続き少ないですが、情報は定期的に確認するようにお願いします。

大型クラゲの出現情報(11月25日現在)
 【△: 2週間前までの発見位置 ×: 1ヶ月前までの発見位置】
 (一般社団法人 漁業情報サービスセンターホームページより引用)

ハタハタの漁獲状況



今年の漁獲量(9~11月)は124トンで、前年比118%、平年比131%です。

11月の漁況

- 延べ操業隻数は2024隻で前年比120%、総漁獲量は1,229トンで前年比168%でした。
- 底びき網漁業の漁獲量は217トンで前年並みでした。ヒラメ、カレイ類、ハタハタ、ズワイガニとマダラは前年を上回り、タイ類、スケソウダラ、アカエビとタコ類は下回りました。
- 定置網漁業の漁獲量は290トンで前年比154%でした。サケ、アジとサワラは前年を上回り、イナダとスミイカは下回りました。
- はえなわ漁業の漁獲量は43トンで前年比124%でした。サワラは前年を上回り、マダラは下回りました。
- その他の漁業では、船凍いか釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のヒラメ、ごち網漁業のタイ類、一本釣漁業のブリ類、採貝藻漁業のサザエが前年を上回りました。

全漁業支所別漁獲量

* 前年比は平成22～26年までの平均値と比較した値です。

単位：隻・kg

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	168	223	378	160	296	185	115	499	2,024	99%	120%
総漁獲量	24,492	19,294	655,975	86,284	167,193	107,568	9,727	158,479	1,229,012	182%	168%
前年比	107%	75%	77%	92%	85%	111%	82%	111%	182%		
前年比	92%	127%	220%	125%	133%	168%	141%	124%	168%		

底びき網漁業

単位：隻・kg

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	25	77	76	34	169	381	108%	110%
タイ類	60	5,190	297	64	1,919	7,530	46%	35%
ヒラメ	161	1,201	346	35	272	2,015	131%	142%
カレイ類	482	2,638	4,242	977	5,480	13,819	87%	117%
ハタハタ	12,502	27,786	26,409	13,190	35,071	114,958	130%	141%
スケソウダラ	76	109	172	42	288	687	47%	9%
ズワイガニ	1,140	1,725	2,224	810	3,815	9,713	151%	131%
マダラ	231	964	718	120	23,696	25,729	101%	143%
アカエビ	118	1,562	632	135	8,401	10,848	52%	58%
タコ類	237	477	746	332	1,212	3,003	85%	62%
その他	873	4,477	5,607	1,306	16,504	28,766		
計	15,879	46,128	41,392	17,010	96,657	217,066	105%	104%
前年比	105%	106%	104%	122%	103%	105%		
前年比	79%	100%	114%	118%	105%	104%		

その他の漁業

漁業種類	船凍いか釣漁業	さし網漁業	ごち網漁業	一本釣漁業	採貝藻漁業
延べ操業隻数	9	507	45	244	264
総漁獲量(kg)		12,223	9,288	30,295	5,341
前年比		88%	60%	79%	103%
前年比		106%	115%	136%	113%
主な魚種	スルメイカ	ヒラメ	タイ類	ブリ類	サザエ
漁獲量(kg)	581,848	2,778	8,859	27,047	5,266
前年比	-	67%	62%	77%	102%
前年比	261%	140%	117%	130%	119%

定置網漁業

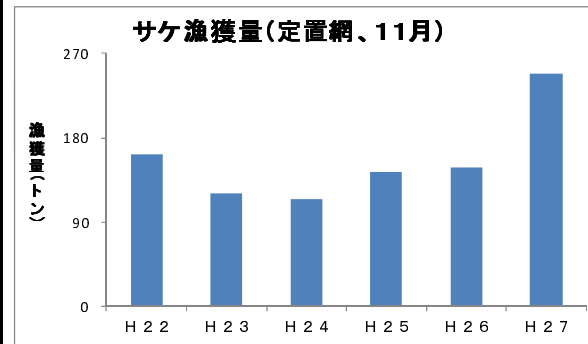
単位：隻・kg

支所	吹浦	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	15	18	41	20	36	130	138%	116%
サケ	1,645	35,933	98,744	64,781	47,466	248,568	168%	180%
イナダ		4,079	11,832	9,011	534	25,456	19%	63%
アジ		576	2,150	344	1,266	4,336	157%	171%
サワラ	10	196	1,017	868	21	2,111	177%	263%
スミイカ(アオリイカ)		4	54	59	14	131	23%	14%
その他	276	478	4,214	4,074	295	9,338		
計	1,931	41,266	118,011	79,136	49,597	289,940	99%	154%
前年比	122%	95%	78%	119%	175%	99%		
前年比	98%	119%	141%	188%	191%	154%		

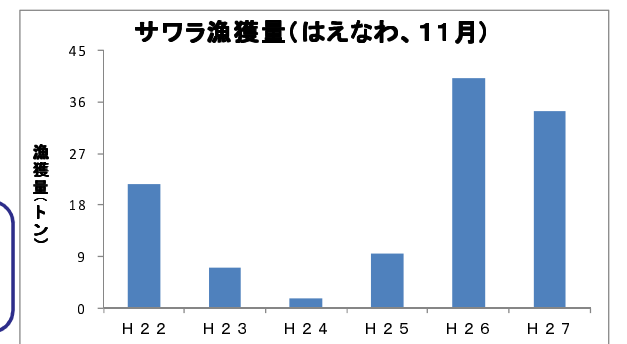
はえなわ漁業

単位：隻・kg

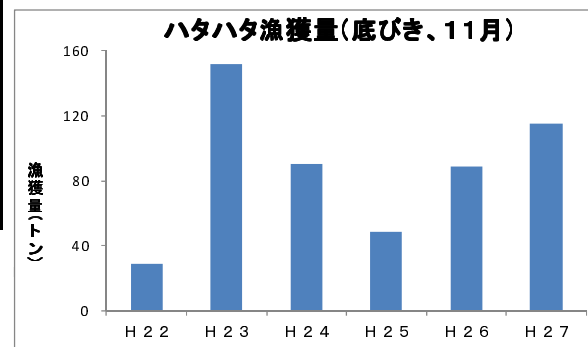
支所	飛島	酒田	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数		55	72	89	116	54	386	85%	106%
サワラ		4,775	7,201	8,576	7,980	5,855	34,386	86%	214%
マダラ		6,071					6,071	54%	69%
その他		910	201	356	786	153	2,407		
計		11,756	7,402	8,932	8,766	6,008	42,864	70%	124%
前年比		72%	100%	79%	51%	136%	70%		
前年比		110%	278%	158%	106%	156%	124%		



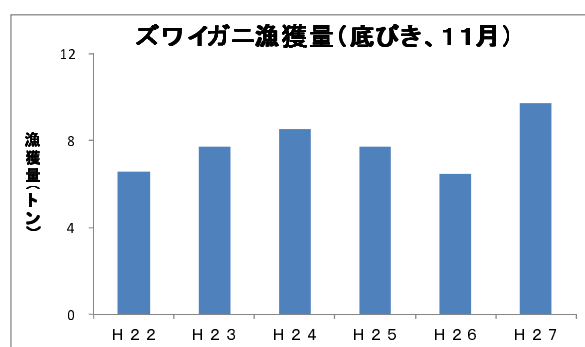
サケの漁獲量(定置網)は、前年比168%、前年比180%と好調でした。



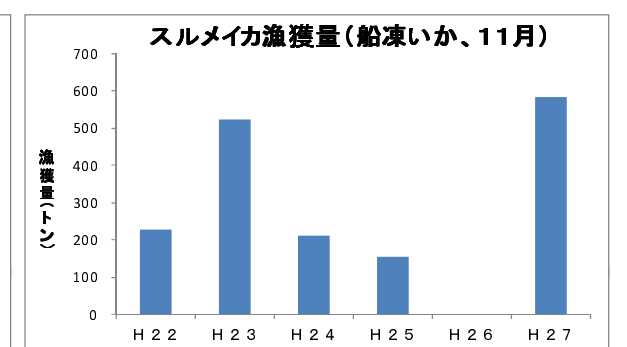
サワラの漁獲量(はえなわ)は、前年比86%であったものの、前年比214%と好調でした。



ハタハタの漁獲量(底びき網)は、前年比130%、前年比141%と好調でした。



ズワイガニの漁獲量(底びき網)は、前年比151%、前年比131%と好調でした。



スルメイカの漁獲量(船凍いか)は、前年比261%と好調でした。

最上丸の予定(12月中旬～1月上旬)

- ・ 上架整備を行います(～12月下旬)
- ・ 海洋観測(タラ場)を行います。

みなさま、調査への御協力・御理解よろしくお願いします。

